



すずきつうしん
鈴木通信

☆第117号☆

(有)スズユウ工務店 〒264-0016 千葉市若葉区大宮町2841-1 FAX:043-231-0097

■■■この鈴木通信は、私とご縁のあった方にもみ差し上げている個人通信です。■■■

◆職人さんたちの技術や知識は…◆

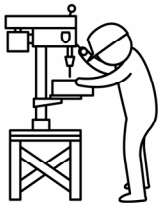
弊社のホームページ関連のことを、いろいろとやっていただいている取引先の女性Nさん。そのNさんがフェイスブックでこんなことを書いていました。

ご高齢のお父さんがもともと職人さんで、玩具の加工をやっていたそうです。そして、その加工するための機械、生業としてきたその加工機械を、もう使わないので売るとい話になり、実家に帰ったそうです。Nさんはすぐその段取りを済ませてこようと思ったのですが、お父さんがその機械について、1時間も2時間も説明をされたそうです。それだけ思い入れがある機械。

Nさんもお父さんの話を聞きながら、子どもの頃その音がうるさかったことや、玩具のプラスチックを加工する匂いとかを思い出し、両親がこの機械を使って頑張って働いて、自分のことを育ててくれたんだなあと思われたそうです。処分してしまうのもちょっと寂しい、複雑な部分もあるということを書かれていました。

そんなNさんの投稿を見て、私自身、自分の家にも似たところがあるなあと思いました。私たちのところは玩具の加工ではありませんが、木を加工する木工用の機械があります。私が子どもの頃は、敷地内の加工場で職人さんたちによって、その機械が今よりもっともって使われていました。今でも、その当時の音や、それから木の香りだったりを思い出します。私もそんな環境で育ちました。

現在は、その機械が以前のように100%稼働しているわけではなく、私たちが加工しなくても、最初から加工してある既製品も多くなり、また、加工を請け負ってくれる工場がいくらでもあってという状況です。ある意味では寂しい面もあります。



玩具の加工にしても、木材の加工にしても、高度成長期を支えた日本の職人さんたちの技術や知識というものは、インターネット全盛の現在でも、なんとか大事にして、途切れさせないようにしたいなあと思改めて思いました。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき有難うございます。さて、私自身、昔ながらの技術を大切にというわけではないのですが、携帯はずっとガラケーでした。ただ、やっぱりスマホの方がなにかと便利だということで、先日、ようやくスマホを購入。さっそくLINE だなんだと教えてもらっています。また、先日、ドコモショップで行われているスマホ教室にも参加してきたのですが、周りの参加者は、みなさん70歳以上。その場では、私が最年少でした(笑)。

■鈴木通信はいらないよという方は、大変お手数ですがお名前ご記入の上FAXしてくださいませよう願いたします。■

【発行者プロフィール】

有限会社スズユウ工務店 代表取締役
鈴木 昭男 (すずき あきお)
昭和 36 年 4 月 1 日生まれ
出身地: 千葉市中央区仁戸名町
出身校: 大宮中、日大習志野、日本大学

趣味: 国内外に出かけることが好きです。
特にスキューバダイビングが大好きです。
家族構成: 妻、娘2人
モットー: 一生勉強

